



2020年5月15日

各 位

株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ
 代表者名 代表取締役社長 長 井 啓
 (コード番号 : 6324)

問合せ先 取 締 役 丸 山 顕
 執行役員 上 條 和 俊
 TEL. 03-5471-7810

2020年3月期(通期)業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2019年11月12日に公表しました2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期(通期)連結業績予想値と実績値の差異 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	百万円 36,700	百万円 ▲1,500	百万円 ▲1,300	百万円 ▲1,500	円 銭 ▲15 58
実績値(B)	37,487	67	499	▲832	▲8 65
増減額 (B-A)	787	1,567	1,799	667	
増減率(%)	2.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	67,809	16,903	17,464	11,601	120.52

2. 2020年3月期(通期)個別業績予想値と実績値の差異 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	18,000	▲700	▲500	▲5 19
実績値(B)	19,788	848	▲173	▲1 80
増減額 (B-A)	1,788	1,548	326	
増減率(%)	9.9	—	—	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	49,249	14,213	10,413	108.18

3. 差異の理由

主に日本市場において、秋口以降の受注高が見込みを上回ったことにより、第4四半期の売上高が予想を上回りました。これは、半導体市場の市況回復に伴う設備投資案件の増加に伴い、半導体製造装置向け、モーターメーカー向けギアヘッド向けの需要増加が見込みを上回ったことに加え、産業用ロボット向けを中心に一部のお客様や代理店各社において、当社製品に係る在庫調整が進展したことが主な要因です。

利益面につきましては、売上高が前回予想を上回ったことによる増益効果に加え、人件費、一般経費等の固定費に係る削減活動が奏功した影響などにより、営業利益が予想値を上回りました。

以上